

小中一貫教育「軸となる取組・活動」

学びの約束・ルール

※下学年の約束・ルールは、上学年にも含まれるものとして考える。

項 目	小 1 (1 年)	小 2 (2 年)	小 3 (3 年)	小 4 (4 年)	小 5 (5 年)	小 6 (6 年)	中 1 (7 年)	中 2 (8 年)	中 3 (9 年)
学習準備	○チャイムの合図や先生の指示で席に着く。 ○毎時間の決められた学習用具を机上に準備する。 ○毎時間の学習に興味をもって取り組む。			○時計を見て、授業開始の時刻に合わせて席に着く。 ○教科に応じて、必要な学習用具を机上に準備する。 ○毎時間の学習にめあてと見通しをもって取り組む。			○授業開始の時刻を意識し、学習準備や教室移動をする。 ○教科や学習内容に応じて、必要な学習用具を準備・確認する。 ○学習課題の解決に向けて、見通しをもって取り組む。		
話 す	○指名されたら返事をしてから発言する。 ○全員に聞こえる声で、口をしっかりと開けて話す。 ○「～です」「～ます」と丁寧な言葉を使って文で話す。 ○伝えたいことを最後まで話す。		○全員に聞こえる声で、はっきりとした言葉で話す。 ○丁寧な言葉づかいで、聞き手の方を向いて話す。 ○伝えたいことを順序よく、分かりやすく話す。		○声の大きさや速さ、強弱、間を意識して話す。 ○時と場、聞き手に応じた言葉づかいで話す。 ○伝えたい要点を明確にし、思いや考えが伝わるように話す。		○場にふさわしい適切な話し方（大きさ・速さ・強弱・間など）を工夫する。 ○時と場、聞き手に応じた適切な言葉づかいを考えて話す。 ○話す目的や意図を明確にし、自分の考えを整理して的確に表現する。		
聞 く	○話し手の方に体を向け、良い姿勢で聞く。 ○話し手の顔を見て、笑顔で最後まで聞く。 ○賛成・付け足し・反対などのハンドサインを使う。		○話し手の方を向き、良い姿勢で聞く。 ○話し手の目を見て、うなずきながら最後まで聞く。 ○質問や感想が言えるように話の内容を聞き取る。		○話し手を見て、共感的な姿勢で最後まで聞く。 ○必要に応じてメモを取りながら聞く。 ○自分の考えと比べながら、話し手の意図を聞き取る。		○話し手の思いや考えを尊重し、最後まで聞く。 ○必要に応じてメモを取りながら聞く。 ○話し手に対する立場を明確にし、共感的あるいは批判的に聞く。		
書 く (ノート)	○正しく、丁寧な文字で書く。 ○日付やめあてなど、毎時間の決められた内容を書く。 ○ノートのマス目の使い方を守って書く。		○丁寧な、読みやすい文字で書く。 ○めあてに対する自分の考えを分かりやすく書く。 ○マス目の使い方や行の空け方を考えて書く。		○1時間の学習内容を見やすく整理して書く。 ○友だちの考えや学習のポイントを付け加えるなどして、分かりやすいノートを作る。		○1時間の学習内容を整理して書き、復習や振り返りに使うことができるノートを作る。 ○友だちの考えや学習のポイントを付け加えるなどして、課題に対する考えがより明確なノートを作る。		

小中一貫教育「家庭・地域との連携・協力に向けた取組」

- 「小中合同学校運営協議会」の設置に向けて ＝ 各校「学校運営協議会」の連携（委員の兼務、共通・合同の取組 等）
- 高野中学校区地域生徒指導連絡協議会による取組 ＝ 家庭地域教育学級の充実、会報誌を通じての交流、標語コンクール 等
- 効果的な学校評価システムの構築 ＝ アンケート項目の一貫性、評価結果の共有、PDCAサイクルによる取組の点検 等
- PTA・地域（中学校区）合同での取組 ＝ PTA声かけ・あいさつ運動、ふれあい音楽会、地域総合防災訓練 等
- 系統的かつ一貫性のある家庭学習の実施 ＝ 各校での家庭学習の徹底、保護者への周知、学校と保護者による協働
- 学校経営方針・各種調査結果・学校だより等の交流、ホームページによる積極的な発信 等